10月の平日夜間・休日診療のご案内

●平日夜間診療･休日診療のお問合せは、下記へお尋ねください。

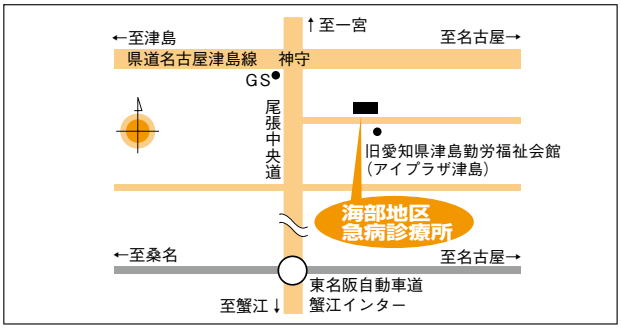
海部南部消防署	☎52-0119
救急医療情報センター	☎26-1133
海部地区急病診療所	☎25-5210

くすり安心電話

●内　　容　くすり、医療用品等に関する緊急の相談、質問、問合せ
●電話番号　090-2136-3858
●対応時間　午後9時～翌朝9時

海部地区急病診療所 津島市莪原町字郷西37

診療科目	診療日	受付時間
内科 小児科	土曜	午後6時～午後8時30分
	日曜 祝日・休日	午前9時～午前11時30分 午後1時～午後4時30分 午後6時～午後8時30分
	上記以外の 月曜～金曜	午後8時30分～午後11時
歯科	日曜 祝日・休日	午前9時～午前11時30分 午後2時～午後4時30分
ホームページ http://amaq.sakura.ne.jp		



病状等のお問合せは、受付時間内に直接お電話してください。

休日の診療は以下のとおりです。
＜外科＞は、海部郡・津島市・愛西市・弥富市・あま市内の在宅当番医による輪番制で行っています。
＜内科＞は、海部地区急病診療所で行っています。

週末の担当病院です

休日診療〈外科〉 午後5時以降は消防署へお尋ねください。専門外の患者さんは、お断りする場合があります。

◆診療時間　土曜　午後１時～午後５時
　　日曜・祝日　午前９時～午後５時

1（土）	わたり整形外科	052-449-6699	あま市
2（日）	小西整形外科	052-875-7178	あま市
8（土）	たなか整形外科	65-5353	弥富市
9（日）	彦坂外科	25-8355	津島市
10（月･祝）	森整形外科クリニック	052-445-5050	あま市
15（土）	後藤整形外科	25-5511	津島市
16（日）	かみ形成外科	22-2077	愛西市
22（土）	もりや整形外科	052-445-3711	あま市
23（日）	駅前ふじたクリニック	052-462-0222	あま市
29（土）	はせ川外科	24-3370	津島市
30（日）	鈴木整形外科	28-8838	愛西市
11月			
3（木･祝）	服部整形外科皮膚科	65-1200	弥富市
5（土）	奥村整形外科	052-445-5667	大治町
6（日）	つつみ整形外科クリニック	97-0223	蟹江町
12（土）	彦坂外科	25-8355	津島市
13（日）	こじま整形外科	25-9911	愛西市

災害用伝言ダイヤル171を知っておきましょう

●「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください。

伝言の録音：171 → 録音の場合は 1 → (×××)×××－×××× → 録音（30秒以内）
ガイダンスが流れます。　ガイダンスが流れます。　ガイダンスが流れます。

※被災地の方も、被災地以外の方も、被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

伝言の再生：171 → 再生の場合は 2 → (×××)×××－×××× → 再生

歯の健康講座 その410

『お口は、健康の入り口』

清潔について考えたことがありますか。広辞苑をひいてみると「清潔・・よごれがなくきれいなこと。衛生的なこと」とあります。

では身体が清潔だと、何か良いことがあるのでしょうか。さっぱりとして、気分が明るくなりますよね。逆に不潔だと、スッキリしないせいか、イライラして気分も晴れません。

しかし身体を不潔にしていると、細菌などが体内に侵入しおこる感染症を引き起こす場合があります。

たとえば、水虫や湿疹、おでき、皮膚炎、口内炎などがそうです。こうした感染症を防ぐためには、やはり身体の清潔を保つことが何よりも大切になってきます。

ところで身体といえば、お口も身体の一部です。普段からお口の清潔を心がけていますか。お口の清潔で一番大切なのは、毎日の歯磨きです。歯磨きで注意したいのは「磨いたつもり」と「磨けている」とは、全く別だということ。**歯が磨けているとは、細菌の固まり・プラーク（歯垢）が除去できている状態**のことです。

プラークは、むし歯や歯周病の原因です。そして歯周病になると、お口の中の細菌が全身の感染症を引き起こすことがあるのです。**歯周病菌がつくりだす毒素が体内に入り糖尿病や脳血管の病気、心臓や腎臓の病気、早産や低体重児出産などを引き起こす**ことが報告されています。

むし歯や歯周病など、たかが歯の病気と軽く考えていませんか。歯から全身への感染症のことを考えると、お口を清潔に保つことがいかに大切なことかが分かります。

そのために私たちができる対策の一つは、毎日の歯磨きできちんとプラークを取り除くことです。

しかしプラークは簡単には取り除けません。鎖のようにがっちりと歯にこびりついているからです。しかも白っぽい色をしているので、なかなか見分けることができないのです。

歯科医院で、プラーク除去のための正しいブラッシング法を指導してもらうといいですね。そして年に2～3回の定期健診を受けることをおすすめします。特に歯周病は慢性疾患ですから、こまめなケアが必要です。

（海部歯科医師会）